

「主の日」としての終末

シリーズ～終末を生きる～

2018/2/11

旧約聖書における「主の日」

- ◆イスラエル民族に裁きが下される「日」のこと
<旧約聖書の預言書>
 - ◆「断食を布告し、聖会を召集し／長老をはじめこの国の民をすべて／あなたたちの神、主の神殿に集め／主に向かって嘆きの叫びをあげよ。ああ、恐るべき日よ／**主の日**が近づく。全能者による破滅の日が来る。」ヨエル書1:14–15
 - ◆「災いだ、**主の日**を待ち望む者は。**主の日**はお前たちにとって何か。それは闇であって、光ではない。」アモス書5:18

なぜ彼らに主の日が臨んだのか

◆「律法」における約束であった

◆「あなたが子や孫をもうけ、その土地に慣れて堕落し、さまざまの形の像を造り、あなたの神、主が悪と見なされることを行い、御怒りを招くならば、…主はあなたたちを諸国の民の間に散らされ、主に追いやられて、国々で生き残る者はわずかにすぎないであろう。」申命記4:25～27

◆イスラエルの民は契約を破り続けた

◆「ヨアハズは二十三歳で王となり、三か月間エルサレムで王位にあった。…彼は先祖たちが行ったように、主の目に悪とされることをことごとく行った。」列王記下23:31,32

預言者たちによる警告

- ◆ 主は預言者を遣わして、警告し続けられた
 - ◆ 言葉による警告:ヨエル・アモス・ミカ・イザヤ…
 - ◆ 活動による警告:エリヤ・エリシャ
 - ◆ 悔い改めのチャンスを与えられた!
- ◆ しかしイスラエルの民は警告を無視した
 - ◆ 「お前たちの先祖がエジプトの地から出たその日から、今日に至るまで、わたしの僕である預言者らを、常に繰り返しお前たちに遣わした。それでも、わたしに聞き従わず、耳を傾けず、かえって、**うなじを固くし**、先祖よりも悪い者となつた。」
エレミヤ7:25,26

警告通り襲った「主の日」

◆エルサレム陥落

◆「ゼデキヤの治世第九年の第十の月の十日に、バビロンの王ネブカドネツァルは全軍を率いてエルサレムに到着し、陣を敷き、周りに堡塁を築いた。…主の神殿、王宮、エルサレムの家屋をすべて焼き払った。大いなる家屋もすべて、火を放つて焼き払った。」列王記下25:1～

◆バビロン捕囚

◆「親衛隊の長ネブザルアダンは彼らを捕らえて、リブラにいるバビロンの王のもとに連れて行った。…こうしてユダは自分の土地を追わされて捕囚となつた。」25:20-21

新約聖書における「主の日」

- ◆ イエス・キリストが復活された日=日曜日
 - ◆ 「ある**主の日**のこと、わたしは“靈”に満たされていたが、後ろの方でラッパのように響く大声を聞いた。」黙示録1:10
- ◆ 終末が訪れる「日」のこと
 - ◆ 「**主の日**は盜人のようにやって来ます。その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、自然界の諸要素は熱に熔け尽くし、地とそこで造り出されたものは暴かれてしまいます。」ペトロ二3:10

旧約聖書にも終末の預言が！

- ◆「**主の日**は、すべての国に近づいている。お前がしたように、お前にもされる。お前の業は、お前の頭上に返る。」オバデヤ書1:15
- ◆「その日は近い。**主の日**は近い。それは密雲の日、諸国民の裁きの時である。」エゼキエル書30:3
- ◆「その日には、人間の高ぶる目は低くされ／傲慢な者は卑しめられ／主はただひとり、高く上げられる。**万軍の主の日**が臨む／すべて誇る者と傲慢な者に／すべて高ぶる者に——彼らは低くされる——」イザヤ書2:11～

預言の多重性

◆ インマヌエル預言

◆「それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。…その子が災いを退け、幸いを選ぶことを知る前に、主は、あなたとあなたの民と父祖の家の上に、…エフライムがユダから分かれて以来、臨んだことのないような日々を臨ませる。」イザヤ書7:14-17

＜アハズ王に対する裁きの予言＞

＜全人類の救い主誕生の予言！＞

イスラエルにおける主の日

契約

モーセの律法

背信

異教崇拜

警告

預言者たち

無視

誤った選民意識

主の日

バビロン捕囚

全人類における主の日

契約

心の律法

背信

創造主否定

警告

教会・クリスチヤン

無視

誤った万能感

主の日

終末

全人類における主の日

契約

心の岸辺

イスラエルに
起こったことは
人類にも
起こる！

主の日

終末

預言者としての務め

「人の子よ、わたしはあなたを、イスラエルの家の見張りとする。わたしの口から言葉を聞くなら、あなたはわたしに代わって彼らに警告せねばならない。」

エゼキエル書3:17

「そして、御国のこの福音はあらゆる民への証しとして、全世界に宣べ伝えられる。それから、終わりが来る。」マタイ24:14